

《大雪の日の体験》

令和3年2月 足立秀一記

先日 TV で大雪のニュースを見ていて思い出した10年程前の私の体験話です。

福祉施設の情報公表制度の調査で一泊二日で浜坂まで出かけた帰りのこと。

前日の宿では、カニ鍋を堪能して気分よく、朝から雪が降っている中、調査施設を訪問して調査を終え大阪へ帰るために浜坂駅に行くが、予定の時間になっても列車が遣って来ない。10数分遅れでやっと到着して乗り込む。浜坂で折り返し城之崎まで行く普通列車だ。

城之崎で特急に乗り換える予定だったので接続時間が気になるが、まあこれぐらいの遅れなら特急も待っていてくれると思っていた。

浜坂を出て暫くは順調に進行していたが、皆さんもよくご存じの余部鉄橋(新設された)の手前の余部駅に停車した後、一向に出発する気配がない。

一番前の車両に乗っていたので運転手が運行について管理センターにお伺いを立てている遣り取りがよく聴こえて来る。その間も雪がどんどん降って来ているのに早く決断しないと益々雪が積もり動けなくなるのにとヤキモキ！

結局遣り取りが終わるまで、かれこれ30～40分ほど停車したまま。

遣り取りが終わるとおもむろに運転手が小さなスコップを持って列車の外に出てレールの雪かきを始める。ワンマンカーなので運転手一人で可哀そう！除雪のための道具が小さなスコップとは、もっと近代的な除雪器具を積んでいないのかと驚く！

動けなくなれば最悪列車ホテルかそれも良い経験だと覚悟を決める。でもすぐ下に余部の集落があるのでそれ程不安は感じなかった。

そうこうする内に運転手が戻って来て、列車を動かすが、数メートル動くとまた止まってしまふ。どうするのかと思っていたらバックをして勢いを付けて動かそうと試みたようで、それが功を奏しやっと動き出し、余部鉄橋を越えた後は、順調に運行され、無事城之崎駅に着くが乗る予定の特急は既に発車した後！

次の特急を待ち何とかその日中に帰宅することが出来ました。

多分、旧の余部鉄橋なら構造上、運行できないほどの雪がレールに積もらなかったのではと思っています。

丁度、新しい橋に切り替わってすぐのタイミングでした。

以上